

ニューロダイバーシティ推進員がお手伝いします！

● 管理職の方・人事ご担当者へのお手伝い

発達障がい特性のご説明、労務管理上の困りごとの整理、職場環境づくりのご提案

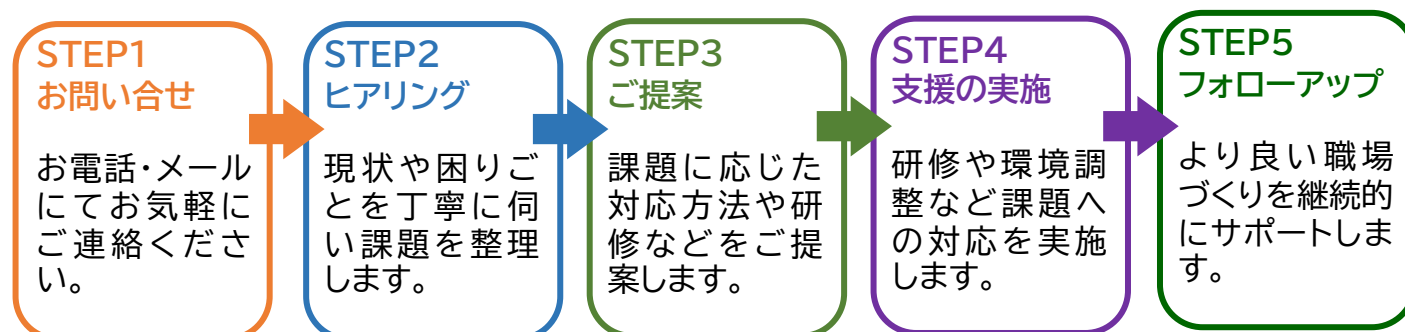
● 理解が進むための研修・勉強会の企画、実施

管理職向け研修、一般社員向け研修

● 継続的なフォローアップ

定期的な訪問、取り組みの定着やお悩みを継続サポート

支援の流れ



東北信担当

社会福祉法人森と木

TEL 026-259-9970 (平日 9時～16時)

メール:neuro-hattatsu@moritoki.jp

中南信担当

長野県発達障がい情報・支援センター「といろ」

TEL 0263-37-2725 (平日 9時～16時)

メール:neuro-hattatsu@shinshu-u.ac.jp



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

まずはお気軽に
ご相談ください！
相談料は無料です。

管理職・人事ご担当者向け

多様性を力に

～ニューロダイバーシティで
だれもが輝く組織づくり～



ダイバーシティ
(多様性)を
企業の力に

一人ひとりの強みが
成果につながる
組織づくり

◆多様な発達特性を有する若者の就労促進事業◆

長野県では、令和7年度よりニューロダイバーシティ推進員を配置し、
発達特性等の困難を抱える若者の離職防止や就労促進につなげる支援を行っています。

しあわせ信州

みんなに居場所と出番をつくる

本事業は長野県の委託を受けて

社会福祉法人森と木と

長野県発達障がい情報・支援センター「といろ」が

実施しています。

ニューロダイバーシティとは？

ニューロ(脳神経)ダイバーシティ(多様性)とは、自閉スペクトラム症や注意欠如・多動性障害、学習障害などの発達障がいに見られる特性を“能力の優劣”ではなく、人が本来持っているさまざまな“多様性”と捉え、その人が持つ強みとして尊重し社会の中で活かしていこうという考え方です。

多様性を活かすことが組織と社会の未来につながります

強みを活かす
職場環境



多様な人材の
活躍



持続可能な
組織づくり
SDGs



誰ひとり
取り残さない
社会
SDGs



発達特性を強みに変える職場環境づくり

発達特性は生まれ持った脳の働き方の違いによるものです。
適切な環境では力が発揮されやすく、環境が合わない则困りごとが出やすくなります。



情報

口頭での指示に加えてメモも渡すなど、情報を見える化することで、行き違いや誤解を防ぐことができます。



得意

苦手な仕事よりも、特性に合わせた業務や配置で、生産性と品質が安定します。



環境

静かな席など、集中しやすい席を確保することで、集中力が上がり、作業効率が向上します。



安心

話しやすい雰囲気やミスを責めない文化などの安心できる職場環境は、能力発揮の土台になります。

主な発達障がいの特性

発達障がいは、生まれつきの脳の働き方の違いによって、コミュニケーションや対人関係、情報処理の仕方に特性が現れます。主なタイプには、自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動性障害(ADHD)、学習障害(LD)があります。

ASD

自閉スペクトラム症(ASD)
臨機応変な対人関係が苦手、対人関係・社会性の障害、
パターン化した行動・こだわり



ADHD

注意欠如・多動性障害(ADHD)
不注意(集中できない)、多動・多弁(じっとしてられない)、
衝動的(考えるより先に動く)



LD

学習障害(LD)
読む・書く・計算するなどの能力が、全体的な知的発達に比べて
極端に苦手

